

# 図書案内

2024年 5月号

## 家族

みなさんはゴールデンウィークをどのように過ごしましたか？きっと家族で過ごす時間が増えた人も多くいたでしょう。そこで今回は「家族」をテーマに本を選びました。この機会に家族で本について話すのも楽しいかもしれませんよ。図書室には今回紹介する本以外にも素敵な本がたくさんあるので、ぜひ橋を渡って「知のワンダーランド」にお越しください。

### 『ハリーポッターと死の秘宝』／J・K ローリング



言わずと知れた名作シリーズ。乳飲み子を抱えたシングルマザーの伝説と呼ばれたハリーポッターシリーズですが、中でも「死の秘宝」は全7巻に及ぶシリーズ全体の壮大な伏線が回収され、ハリーと亡くなった家族の尊さ、成長した登場人物が織りなす愛の物語が展開され、すべての謎が解き明かされます。映画で見たことがある人も、登場人物の心情や映画とは少し異なる表現が楽しめる本作品ですのでぜひ手に取ってみてください！

「死者を哀れむではない、ハリー。生きている者を哀れむのじゃ。とくに愛なくして生きている者たちを」

### 読書の時の正しい姿勢とは？



勉強や読書で何かと文字を読む機会が多い学生の皆さん。ここでは日常に役立つ、「読書のときの正しい姿勢」について、ここでは3つのポイントに基づいてお教えします。まずは、「背もたれとひじ掛けがあり、高さ調整ができる椅子を用いること。」背もたれやひじ掛けがあることで首や本を持つ腕が支えられ、負担が軽減されて、適切な高さに椅子を調節することで太ももの裏が圧迫されるのを防げます。ただし、どちらかのひじ掛けにばかり体重をかけると骨盤がゆがむ恐れがあるため注意しましょう。2つ目は、「一時間程度に一回十分休憩を入れること。」長時間連続して読み続けると、眼精疲労や肩こり、頭痛を招いてしまい、かえって集中することができなくなってしまいます。そして3つめは、「目と本の距離をある程度空けること。」一般的には30からセンチ空けるのが好ましいとされています。勉強に部活、学校行事と忙しい学生生活ですが、今こそ読書をして人生の選択の幅を広げましょう。

### 『そして、バトンは渡された』／瀬尾まいこ



三人の父親と二人の母親を持つある女子高校生の物語。実の家族からの愛情、血のつながりのない家族からの愛情、家族でなくても大切に思われる愛情。『家族』のテーマにぴったりな名作で、主人公の優子と父の森宮との微笑ましい何気ない日常の食卓、段々と解き明かされる家庭事情に心を動かされながら楽しく読んでください！

ありがとうと言える相手がいるのは幸せだ。

### 『ぜんりやくパパへ』／森田浩章



皆さんも小さいころに一度はお父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃんにお手紙を書いたことがあるのではないのでしょうか。この本には、138人の子供たちが大好きなパパに贈った愛に溢れた手紙の実際の写真と、それを整理して活字に起こしたものが載せられており、読めば思わず笑みがこぼれてしまいます。家族と過ごす時間が増えるこの機会にご家族と一緒にこの本を見て、思い出話に花を咲かせてみてはいかがでしょうか。

なっている めざましどけい おきろパパ

### 『透明な螺旋』／東野圭吾



南房総沖で男性遺体が発見された。その男の失踪した恋人の行方をたどると、彼女と行動を共にしている絵本作家の存在を知る。彼女たちとの連絡方法を模索していく過程で、ある人物との関係が明らかになる。その人物の関与が、事件を思いもよらぬ真実へ導いていく。その真実が明らかになった時、誰かが幸せになるのか。「愛する人を守ることは罪なのか」、「ガリレオ」シリーズ最大の秘密が明かされる。

「人は誰もひとりでは生きられない。今の僕があるのは多くの人たちのおかげだ。」

(参考 URL: <https://benesse.jp/kosodate/202310/20231031-1.html>)